

施策評価シート

施策等名称	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	体系番号	0201020502
		主管課	スポーツ健康課

1 施策基本情報

現状と課題	成人の週1回以上のスポーツ実施率は30.2%(2016年度市民アンケート)で、全国42.5%(2016年度スポーツ庁調査)、県45.1%(2015年度長野県調査)と全国・県内的にみると下回っています。しかし、スポーツを必要だと思っている割合は79.3%となっています。スポーツが必要であると思っているのに、仕事や家事が忙しくスポーツができていない状況です。初心者向けの体験教室や高齢者が参加しやすい教室、スポーツが得意でなくても楽しめる、子どもと一緒に参加できるイベント等、それぞれの目的・ニーズにあったスポーツ活動が望まれています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	市民誰もが、年齢、体力、技術、適性、興味・目的に応じて安全にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた取り組みが進んでいる

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	
				2027年度目標値	区分
①	成年の週1回以上のスポーツ実施率	成年の週1回以上のスポーツ実施率(%)	30.20	40.00	
				40.00	
				40.00	
②	コミュニティスポーツ教室年間参加者数	コミュニティスポーツ教室年間参加者数(人)	3,689	4,500	
				4,500	
③					

施策の柱1	名称	ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進			主管課	スポーツ健康課		
	詳細	スポーツ初心者や苦手意識のある人が参加しやすい機会の提供やきっかけづくりとして、いろいろなスポーツ教室の開催やイベントの充実を図る						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	市民総合体育大会参加者数	市総体参加者数	3,534	3,500	1	大会開催関連事業	実施
					3,500	2	スポーツ団体等支援事業	実施
	2	生涯スポーツ健康講座数	開催講座数	9	9	3	教室開催関連事業	実施
					9	4		
	3	コミュニティスポーツ教室数	開催教室数	37	37	5		
					37	6		
	基本政策間連携							

施策の体系	名称				主管課			
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1					1		
						2		
	2					3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

施策の柱3	名称				主管課			
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1					1		
						2		
	2					3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

施策等名称	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	体系番号	0201020502
		主管課	スポーツ健康課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	成年の週1回以上のスポーツ実施率	30.20	-	-			
1		40.00	-	-	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	市民アンケートは、5年に1度程度しか行わないため、実施率は不明					
	2019年度	市民アンケートは、5年に1度程度しか行わないため、実施率は不明					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	コミュニティスポーツ教室年間参加者数	3,689	3,051	2,702			
2		4,500	67.80	60.04	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	教室数の減少と参加者数の伸び悩みにより、年間参加者数の減少となった					
	2019年度	37教室、延べ254回開催。教室数は前年並だが、参加者数が伸びなかった。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	市民総合体育大会参加者数	3,534	3,835	3,748			
1		3,500	109.57	107.09	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	新加入協会による大会参加者の増加や陸上競技参加者増が寄与。					
	2019年度	前年並みの参加者があり、目標を達成できた。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	生涯スポーツ健康講座数	9	11	11			
2		9	122.22	122.22	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	健康講座と体力測定が1回ずつ増やすことができたことにより、実施講座数が増加。					
	2019年度	前年と同様に講座を開催できたことにより、実施講座数を維持することができた。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	コミュニティスポーツ教室数	37	36	37			
3		37	97.30	100.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	ほぼ目標値の教室を開催することができた。					
	2019年度	スポーツリーダーの努力により、教室の開催数を増やすことができた。					
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	体系番号	0201020502
		主管課	スポーツ健康課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	13,168,275	14,888,000 1.13			
	うち一財(円)	10,643,275	11,153,000 1.05			
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		おおむね順調	おおむね順調			
総合評価	主な取組内容や成果	親子運動教室やヨガ教室等の生涯スポーツ健康講座、各地区でスポーツリーダーが開催するコミュニティスポーツ教室の開催や支援を実施。生涯スポーツ健康講座では、健康づくりポイント事業との連携で新たな層の参加があった。	各地区でスポーツリーダーが開催するコミュニティスポーツ教室の開催や支援を実施。生涯スポーツ健康講座では、健康づくりポイント事業との連携で新たな層の参加があった。			
	課題	一部の教室等では、マンネリ化や参加者が固定化している。スポーツに興味がなかったり苦手な市民が参加したくなるものや、ヨガなど体に負担のかからない体操などの教室が求められてきている。	例年通りの教室数は開催されているが、参加者数が減少していることから、参加したくなるような内容の教室を考えていかなければいけない。また、固定化した参加者が高齢化し、新規参加者が増えていないことから、広く参加者を募っていかなければいけない。			
改革・改善	改革・改善内容	教室終了時に実施希望種目のアンケートを行い、需要調査を行う。高齢者保険課や諏訪広域連合の介護予防講座・介護サービス事業との連携することで、今までスポーツに縁がなかった市民向けのアプローチを行う。	新規参加者を増やすために市民のニーズに応える講座の企画と、多くの市民に知ってもらうため市ホームページ、広報のほかに、マスコミを使つての参加募集を検討する。スポーツリーダーの新規加入者、教室への参加者の増加を目指し、現在スポーツを行っていない人でも気軽に参加できる機会を提供する。			
	重点化する 施策の柱 重点 事務事業	1	1			
	理由	3	3			
施策の柱等の 重点化	理由	スポーツ実施率の向上には、今現在スポーツを実施していない市民や、スポーツ嫌いの市民へ直接働きかけることが重要。	スポーツ実施率の向上には、今現在スポーツを実施していない市民や、スポーツ嫌いの市民へ直接働きかけることが重要。			

作成担当者	上条 直之	牛山明広		
最終評価責任者	平出 信次			
最終評価年月日	R1.7.23			